



第3次 吉賀町男女共同参画計画

2023年2月
吉賀町

はじめに

世界経済フォーラムが毎年発表する世界男女格差報告書によると、日本のジェンダーギャップ指数2022は146か国中116位で、相変わらずG7(主要7か国)で最下位でした。世界各国の男女平等への取り組みが進む中、大きく遅れをとっていると言わざるを得ません。「政治」および「経済」分野のポイントが著しく低く、女性の首相が誕生していないこと、議員や大臣・管理職の女性割合が低いこと、男女の賃金格差が特に問題となっています。わが国には、女性が指導的立場になることを阻む『ガラスの天井』は今なお存在しているといえるでしょう。2018年に発覚した東京医科大学が一般入試の点数を加減し女子合格者数を抑制した事件は有名ですが、もっと身近なところでは、「どうして女子は帰宅時間が遅くなってはいけないのですか？」(2022年男女共同参画推進講演会in吉賀高校Slidoによる高校生からの質問)のように女性は行動に制約を受けることもあります。女性が「して当たり前」の家事・育児を「手伝う」男性が褒めたたえられる、結婚した男女の9割が夫の氏(苗字)を選択している、など男性は男性であるというだけで認められる「既得権益」に気付いていないことが多いのではないのでしょうか。

一方でこの「既得権益」は、ほかならぬ男性自身を苦しめるしがらみになっていることもあります。男は泣くな、強く勇敢であれ、女性を守れ、リーダーシップを発揮すべし…こうした周囲からの期待は、やがて自分自身を「The Man Box(マン・ボックス)=男らしさの箱」と呼ばれる固定観念に閉じ込めてしまうことでしょう。

ガラスの天井に行く手を阻まれる女性、男らしさの箱に閉じ込められた男性、たったふたつの性別に分類することはできませんが、このままでは誰にとっても優しく生きやすい社会とは言えないのは明らかです。

第3次吉賀町男女共同参画計画は、人権と多様性の尊重を基本理念としたまちづくりそのものにかかわる横断的な計画です。

本計画を策定するにあたり、多世代・多様な立場・価値観をお持ちの皆さんに参画いただきました。貴重なご意見やご提案をいただいた吉賀町男女共同参画計画策定委員のみなさま、ワークショップに参加して下さった吉賀高校生、男女共同参画サポーターのみなさま、調査にご協力いただいた町民のみなさま、中高生のみなさま、その他多くの関係者のみなさまに、心からお礼申し上げます。

2023年2月

吉賀町長 岩本 一巳

目次

第1章 計画の策定にあたって

1 計画策定の背景	1
(1)国の動き	
(2)島根県の動き	
(3)吉賀町の動き	
2 計画の性格	2

第2章 吉賀町の現状と課題

1 データでみる吉賀町	3
2 実態調査(アンケート)の結果から	5
3 高校生ワークショップ「ミライを語りませんか？」	6

第3章 計画の基本的な考え方

1 吉賀町がめざす男女共同参画社会	8
2 本計画におけるビジョン	9
3 計画の進め方	10

第4章 具体的な取り組み

ステップ1 関係性をよくする【関係の質】	11
ステップ2 主体的に考える【思考の質】	13
ステップ3 能動的に動く【行動の質】	14
施策の体系図	15

第5章 計画の推進

1 計画の推進体制	16
2 数値目標	17

参考資料

各種名簿及び計画策定経過	19
--------------	----

巻末資料

男女共同参画に関する住民の意識・実態調査結果
ジェンダー平等に関する中高生の意識・実態調査結果